

編 集 後 記

新型コロナウイルス感染者が国内ではじめて確認された2020年1月からすでに3年が経過し、いよいよ今春にも5類への移行が本格的に検討されることとなりました。この間にWeb会議システムが急速に発展し、国内外を問わず自宅から参加できるという利便性を誰もが感じていることと思います。編集委員会もここ3年はWebで審議してきましたが、会議の回数が比較的多く、委員会メンバーも固定しているためある種の安定感がありWebのメリットが活かされているように感じます。会議は毎回長丁場ではありますが、窮屈さを感じさせず集中して意見を出し合うことができおり、その成果が出版という形になって学会員の先生に届けられることにとてもやりがいを感じます。ただ、それが共感しづらいのもまたWeb会議の特徴かもしれません。コロナが5類に移行した暁には是非対面での編集委員会というものを味わってみたいものです。

(武田充人)